



7月 学校だより

令和6年7月12日

第13号

文責：小山

7.3(水)3年つくばミュージアム出前授業。地元筑波山の秘密に迫る探求心を刺激してくれる授業でした。ふるさと学習との関係も深いこともあり、ゲストティーチャーの話を熱心に聞いていました。



写真は、加波山周辺で採掘した石の標本です。まだ学習していませんが、石の重さや感触を楽しんでいました。児童の多くは、「筑波山は噴火しない山」であることを初めて知り驚きの表情をしていました。



7.3(水)4年図工「コロコロガーレの制作」。作品例を参考に自分の構想で作品づくりを楽しみました。制作過程は、試行錯誤的な要素を含んでおり、色々なアイデアを作品制作に取り入れていました。



カーブや高低差を考慮し転がり落ちる玉の写真です。更に工夫しながら複雑なコースを制作中。V字型やコの字型など断面の形状により、切断したり折り曲げたりする複雑さが生まれます。夢中になって制作に励んでいます。



7.4(木)早朝ボランティア。ボランティアの子どもたち60人で除草を行いました。7月に入り、さつまいものつるも順調に伸び始めました。10月には立派なイモが収穫できそうです。



全校児童に呼びかけたところ、早朝の委員会活動を担当している高学年を除いて、たくさんの児童が協力してくれました。ダンゴムシや小さな昆虫などを発見しながら、作業を楽しみました。



〇7月に入り、体調を崩している児童が目立ち始めました。熱中症対策から室内で過ごす時間が増えてきています。体温調整に不慣れな時期でもあり、汗をかいた後の処理や換気などに特に注意しながら健康管理を行っています。